



特集

p2-4

ボランティアする若者たち

p5-6\_\_サポセンの事業報告

p6\_\_[チャレンジャー]さくら広場の会

p7 [スタッフコラム]

妻の妊娠日記から

～子育てしやすい街ってなんだろう?～

p7\_\_サポセン新規届出団体

p8 [ある日のサポセン]

無理なく長く、活動続けるには?

# Volunteer

特集

# ボランティアする若者たち



度重なる自然災害の救援ボランティアや  
2020年東京オリンピック・パラリンピックのボランティアなど、  
「ボランティア」という言葉が世に溢れている昨今。

ふと目を向ければ、毎年、夏休みに  
ボランティアをする若者たちがいます。

中には、ひと夏で10団体以上のボランティアに参加している人も。

今回は、さまざまな場で活躍する市内の高校生2人に  
話を聞きました。





重松青実さん (高2) 牧野紗夏さん (高2)  
当センター主催で毎年行う「Let's 体験!!!」(中学生~20代の夏のボランティア体験講座)のふりかえり文集作成委員4年目。学生ボランティア団体「Come Peers!!!」の立ち上げメンバーでもあります。文集作成会議が始まる前の時間にインタビュー。  
※「Come Peers!!!」については次号で詳しく紹介する予定です。

—そもそもボランティアに参加したきっかけは？

紗夏ちゃん(以下S) コイツ(↑育実ちゃん)がきっかけ。

育実ちゃん(以下I) 中2の時、夏休みヒマだなーって思って、Twitterでたまたま『コレ(Let's体験!!!)誰か行く人いない?』ってつぶやいたら、コイツ(↑紗夏ちゃん)が「ええけど」って返してくれて。

—学校で話したんじゃないかって、Twitter上のやり取りなんだ(笑)

S&I 学校では、ボランティアの話なんてしないよね。

I 最初の動機は、やっとくと内申にいいかな、くらい。でも今は、やめるって選択肢はないよね。やるかやらないかでは迷わない。今年は何やろうかなって感じ。

—ボランティアが楽しい、っていうのは前提でいい？

S&I うん。楽しい。



—何が楽しい？何が魅力？

I そもそも、そのボランティア先の活動に興味があるから、そこに行ってどんな活動を知られるだけで充分満足。自分にとってのモチベーションで言うと：コミュニケーションを取ること、少し苦手意識があってもだからって誰ともコミュニケーションを取らないでいたらコミュニケーション能力がどんどん下がっちゃうから、むしろこれ以上下がらないようにするために参加するようにしてる。

S ー、家でダラダラしているよりは行こうかなって言うくらい。本当はゲームしてる方が楽しいけど(笑)。でも、『ゲームの方が楽しい』って自覚しつつも参加してる私がいる！

I 前に夜間中学のボランティアに行った後、たまたまテレビで夜間中学校の特集をして。今までのだったらスルーしてたかもしれないけど思わずじっくり見てしまった。そんな風に、ボランティアしたことで意識が変わることもある。

S&I 何よりスケジュール帳が埋まるのが嬉しいよね(笑)

学校ではボランティアの話なんてしないけど…

今年は何やろうかな



—もしボランティア活動に単位がつく、とかになったらどう思う？

I ボランティアが夏休みの宿題になってる学校もあるし、単位が『きっかけ』になるのはいいんじゃないかな。もし単位だけが目当ての子がいて活動先でやる気が無いのはどうかなって思うけど。

S 興味のある活動だったら、別に単位にならなくても行くし。

S&I 単位はオマケみたいなものだよな。

—今やボランティアにハマってる感じだけど、それにマイナス感はない？

I 私にとっては大きな存在。ずっと続けていきたいって思う。

『ゲームの方が楽しい』って思ってる人だって

ハマルかも？

コミュニケーション

苦手な人にこそ

オススメかも？



ふりかえり文集を制作しているメンバーの中には、社会人になっても働きのながらボランティアを続けている人もいます。

インタビュ어의終わり頃、ふりかえり文集委員のメンバー達が会議のために集まってきた、全員が揃ったところで会議がスタートしました。

この場の雰囲気を感じたことは、「同調圧力が低い」ということです。年齢も学校も好きな物もバラバラなメンバーだからこそ、お互いが自然体でいられる空間でした。会議中は、度々雑談が混じり、出入りも自由。そんなラフな雰囲気の中でも「私はこう思うけどどう？」という全体への問い返しや「AさんとBさんでは世代も違うし視点が違うと思うから、両方の意見を聞きたい」という発言など、多様な人が集まる中で、対話を重ねているメンバーならではの「違い」を尊重する姿勢が見られました。

会議終了後には、昨年ふりかえり文集委員だったメンバーが、フィンランドの大学院に留学中とあって、LINEでビデオ通話をして「そっちはどう？」と会話を楽しんでいました。



今年も  
300名以上  
が参加!

中学生～20代 夏のボランティア体験講座

# Let's 体験!! 2018

ココロもカラダもアクティブに♪  
自分セカイを飛び越える!  
夏タイケン☆

今年も300名以上が参加した「夏のボランティア体験講座 Let's 体験!!」。半数以上の参加者はボランティア初体験というなか、「地域の活動を通じて若者を育てよう」という共通の想いを持った受け入れ団体が約50のプログラムを提供しました。子ども・高齢者・障がい者等の場に若者が入ること、お互いにとって刺激や発見があったようです。

参加者のふりかえりシートを読むと、今までボランティアに対して抱いていた「大変、面倒、疲れるだけ、難しい、固い、疎遠」というマイナスのイメージから「楽しい、達成感を感じた」というプラスのイメージへ変化しているのが見えました。

小学生と一緒に宿題をしたり、オセロ・トランプ、UNO などをして交流♪  
お昼やおやつを作る日も。



ボランティアのイメージは...

**Before**

大変、面倒、疲れるだけ、  
難しい、固い、疎遠

**After**

楽しい、達成感を感じた

(※参加者の  
ふりかえりシートより)

お料理・盛り付け・配膳片づけ、  
洗い物など、できること、  
やってみることに何でもチャレンジ!



# サポセンの 事業報告

project report  
2018



>>>今回の講師  
NPO法人こまちぶらす  
森祐美子さん

# Volunteer

何の気負いもなく、「興味の向くまま」にボランティアする若者たち。  
大人の期待や思惑を気にすることなく、  
彼・彼女達が主体的に選択して  
楽しんでいる姿が見えました。



## report

# 1

## まちづくりキーパーソン養成講座 孤立しない子育てを支える

まちづくりキーパーソン養成講座・初回講演会

今年で第4期を迎える「まちづくりキーパーソン養成講座」。いつも初回のゲストには全国から講師に来ていただいて、オープン講演会を開催しています。今回は横浜の戸塚でコミュニティカフェを運営されている、NPO法人こまちぶらすの森祐美子さんをお呼びしました。子育てが「まちの力」で豊かになる社会を目指して、孤立した子育てを無くすことを目的にカフェの運営をスタートし、今では地域の人たちや行政・企業を巻き込んだプロジェクトを仕掛けています。

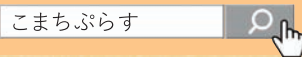
講演の中で印象に残ったメッセージは「はじめは楽しい・面白そうという感覚から」「活動を始めていく上で大切なことは出会い」「継続していくには共に話す機会、一緒に考えることが大事」という3つでした。



子育てを、まちでプラスに。

## comachi plus

NPO法人こまちぶらす・ホームページはこちら  
<https://comachiplus.org/>



まちづくりというと固く感じられてしまいかもしれないけれど、自分自身が楽しいと思えているかがポイント。それは仲間や利用してくれるママさんたちとの関係性づくりでも同じで、支援する・されるというつながりではなく同じ目線で接していくことの重要性を感じました。



さくら広場



森の手入れや自然観察会・竹細工教室、草木染体験…作業の後には 流しそうめん!



### まちづくり

### キーパーソン養成講座

この講座では地域で活躍している先輩ゲストの実践してきたストーリーを聞き、自分が実現したいことを考えていきます。あなたの力がまちにつながる。そんな一歩を共に見つけていきましょう!

**対象** これから地域活動・市民活動やNPOに参加してみようと考えている方や自分自身の団体を立ち上げようと考えている方



小金ほのぼのの食堂

report

# 2

## 「パートナーとのコミュニケーション講座」 地域活動に取り組むあなたのための

NPO・市民活動よろず相談室 開催レポート

市民活動に取り組む方の「あるある」な悩みの1つ。それは、「自分の活動について、パートナー（夫・妻・恋人等）にわかってもらえない！」ということ。なぜお金になるわけでもないのに、休日をつぶして活動するの？なんて言われて、げんなりした経験のある方も、多いのではないだろうか。

そんな状況を打破するために、大事なパートナーに自分の気持ちをきちんと伝え、また相手の気持ちも受け取ってゆくコツを学べる講座を開催しました。

講師はコミュニケーションの専門家、駒崎晴世さん（コミュニケーションサークルはればか代表／親業訓練インストラクター）。

台風が迫る中14名もの方にご参加いただき、自分を主語に伝える「I（アイ）メッセージ」の大切さを実感したり、聞き方を工夫することで、相手の気持ちを追体験でき相手への理解が増したり！

目からうろこの時間を過ごしました。  
毎月開催するこの「よろず相談室」。  
テーマは毎回変わります。  
ぜひ広報まつど・HP等でご確認を!!



>>今回の講師  
コミュニケーション  
サークルはればか代表  
駒崎晴世さん

2018年7月28日(土)開催

## Challenger

<チャレンジャー>  
市民活動団体紹介

### さくら広場の会

お問合せ

さくら広場の会（担当＝二村たかえ）

✉ E-mail [nimuratakae@gmail.com](mailto:nimuratakae@gmail.com)

☎ TEL 080-5454-0726



### 子どもたちが頑張らず、自分らしく いられる居場所を目指して。

「さくら広場」は週5回開いている小学生の居場所です。その広場を運営しているのが、さくら広場の会で、代表の二村たかえさんは小学生のお子さんがあるお母さん。育児中共働きで貯めた自費を投じて松戸駅西口ダイエー近くのビルの一室を賃貸契約し、リノベーションを経て2017年春にオープンしました。

「子どもたちが、誰かに話を聞いて欲しい、誰かと話したいと思ったときに気軽に来れる場所を作りたい」と、自らの体験をきっかけに以前より構想を温めていたのを実現。二村さんのあたたかい人柄や、遊びや学びを提供してくれる大人たちの協力もあり、夏休みは8畳2部屋ほどの広場が20人以上の子どもたちで賑わいました。今は1回300円の利用料ですが、誰でもいつでもふらっと来られるように、いずれは無料にして、毎日開き、広場を卒業した若者も時々遊びに来られるような、地域の児童館のような場所にしたい、と夢を膨らませる二村さん。「運営資金のためにバイトの日々ですが、学校で「家の周りの好きな場所」という質問に「さくら広場、って書いてくれた子に力をもらいました!」と嬉しそうに語ってくれました。



地域の児童館のような  
いっしょにふらっと来られる  
場所じゃあないかな

↑みんなで宿題やったり  
実験したり...  
自分がやりたいことを  
思い思いに。



←代表の二村たかえさん

# 妻の妊娠日記から

## 子育てしやすい街ってなんだろう？

今回は私自身、というより

妻の妊娠から感じたモヤモヤ感を通して

「子育てしやすい街」について考えてみたいと思います。



まつど市民活動サポートセンター  
センター長 阿部剛

この話の始まりは妊娠1カ月目。もしかしたら……と、結婚4年目でまだ子どもがいなかった私たち夫婦にとって、これ以上ない嬉しさと不安が一気にやってきた日でした。そしてワクワクした気持ちを抱きながら、近所の婦人科があるクリニックへ。どうやって選んでいいのかも分からず、女医さんだしっか、と気軽な気持ちで通院を始めました。



でもしかし、既にここからモヤモヤ感がスタートしました。クリニックで診察してもらい、晴れて妊娠していることを伝えられたのですが、何というか作業感。例えて言うなら、塾で先生に受験の指導を受けている感じで「いついつはこうして、この時にはこうして……と、あっという間に終わってしまいました。こんなものなのかな？」と思いつつ、モヤ×1。とりあえず役所に行ってくださいと言われ、今度は母子手帳をもらいに行きました……。この後もいろいろなモヤポイントがあったのですが、それはまた別の機会に。

子育てしやすい街ってなんでしよう？ 当事者になってみて一番感じたのは、もう少し街全体（医療や行政はもちろんのこと、お店や道行く人々）がウエルカムベビー！ってなったら良いのに、ということ。妻はつわりが厳しい時に電車で席を譲ってくれた、たぶん10代くらいの男の子に感激していました。彼は一緒にいた彼女に良い所を見せたかっただけかもしれないけれど、それでもそんなちょっとした思いやりが街に少しずつあふれたら、きっとそれは子育てしやすい街なんじゃないかな？と。



皆さんはどう思いますか？12月2日にサポセンで開催する「まつどみらい会議」ではそんなモヤモヤを語り合います。是非この続きはこちらで話しましょう！

12/2(日)「まつどみらい会議」で  
思いっきり語り合しましょう♪



## サポセン 新規届出団体を 紹介します！

(2018年4月5日  
～9月16日  
届出順・敬称略)



- ★ボーイスカウト松戸第5団 ★健康麻雀サークル 笑心
- ★育児セラピーの会 ★Come Peers!! ★日本防災士会 千葉県北部支部
- ★松二子ども会 ★NPO法人こども子育て・発達支援研究会
- ★新松戸☆笑いヨガくらぶ ★岩瀬自治会 ★ユニバーサル・ピア
- ★一般社団法人まつど地域共生プロジェクト ★NPO法人さんま
- ★松戸三丁目東自治会 ★いなほ幼稚園 卒園対策チーム ★サロンひぐらし
- ★矢切地区風致保存会 ★MIRAIのしるし ★下矢切第三子ども会
- ★まつど地域活躍塾つながりの会 ★桜JB FOUNDATION ★マサラの会
- ★新松戸七丁目町会 ★音・音楽フォーラム松戸 ★Clustegram Collection ★まつどWomen'sヘルスケアカレッジ
- ★日本中国友好協会東葛飾支部 ★心臓病の子どもを守る松戸親の会 ★花スケッチ・日本画の会 ★カトウの会
- ★松戸一輪車クラブMIC ★自然と歴史の松戸 ★ディスクゴルフ体験クラブ ★松戸手作り甲冑愛好会

皆さんにサポセンセンターのことや市民活動のことをもっと知ってもらうために、これまでで寄せられたご質問や実際の出来事などをもとに、仮想のストーリーに仕立てた「Q&A風」のコーナーです。

# 無理なく長く、活動を続けるには？

いつも会議室で練習をしている、手遊びを交えた合唱サークル「ピヨONSEのついで」。ある日、会議室の前を通りかかると、なにやら喧嘩している声が外まで…。様子が気になったコーディネーターが、メンバーのEさんの帰りがけに声を掛けると…。

1 何かトラブルですか？

コーディネーター

Eさん

ええ、うちのサークルはいつもピヨONSEの歌を歌っているんですけど…。

すっぴい、声をしたけど…

2

10日前に入った新メンバーの音がそぐわない！って、メンバーの一人が怒鳴ってしまっ。

あなただけピヨNSEじゃあな！

結局、やめちゃったから次の出演メンバーを組み直さなきゃいけないのよねえ…

3

次の出演って…デイスービスの慰問？色々な所から引っ張りだこですよ。

そうなの。でもね、新しい人が入ってはやめての繰り返しで私も少し疲れちゃったわ。活動10年の節目だし、解散しようかしら…

うーん、勿体ない気もしますね…。Eさんが気楽に相談できる人って仲間にはいないの？一回、ちゃんと話し合った方がいいんじゃないですか？

4

話し合いをしようとはしてるんだけど、すぐ雑談になっちゃって。

仲良しサークルにしたいわけじゃないはずなのに…。

あ、でも困っている私を気にしてくれる人はいるわ。

5

だったらその人と作戦会議して、改めてみんなで作って話す場を作ってみませんか？会議で役に立つワークシートも使ってみる？

どうだったか聞かせて！

ワークシート！？

6

…数日後…

こんにちは。ちゃんと話し合えたわ！ワークシートがある会議も迷走しないので済むのね。

それだけのやる気と開わり方も改めてみんなで共有！

それがね…

みんなが継続していきましょう、ってなったのに結局事務作業とかは気づいたら全部私が…

良かった！でも…なんだかEさんやつれてませんか？

すごく忙しいそう…

7

今もポスターづくりや、慰問先とのやりとりで大忙しなの…続けるならやっぱりもう少し人手がほしいわ。

なるほどー…一難去ってまた一難ですね。どんな人手が必要なのかも含めて、一度団体の中のことを整理してみませんか？

次号に続く

サポセン  
ニュースレター  
2018年深秋・第13号



発行日：2018年11月5日(※年4回発行)  
発行元：まつど市民活動サポートセンター(指定管理者 NPO 法人まつど NPO 協議会)  
デザイン：トクナガリツコ

「ぼっく」の主な設置場所

松戸市内の図書館、市民センター、公民館など各種公共施設の他、松戸駅自由通路に設置しています。

「ぼっく」設置協力店

フェリーチェ(松戸新田)/デジラボ(本町)/Sampo Café(八ヶ崎7丁目)/古民家ホームシェア co-no-mi(吉井町2丁目)

## 「ぼっく」の配架にご協力いただけるお店・施設を募集します!

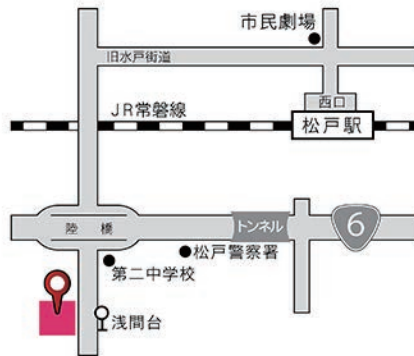
ニュースレター「ぼっく」を、お店や施設に配架していただけませんか？ご協力いただいたお店・施設は、この欄で名称・所在地等をご紹介します。もちろん、無料でお届けし、部数もご要望に応じます。広告掲載も募集中です。詳しくは、まつど市民活動サポートセンターまで、お電話・メール等でお気軽にお問合せください。



特集で参加したふりかえり文集会議では、初めて聞く単語のオンパレードでした。U.S.A、ヒプノシスマイク、無課金勢、しののん、アムロ、ドブツた…。「あれ、私今日どこに行ってきたんだっけ…？」と一瞬わからなくなりながら家路へと自転車を漕ぎました。(菊)

## まつど市民活動サポートセンター

〒271-0094 松戸市上矢切 299-1(総合福祉会館内)  
TEL : 047-365-5522 FAX : 047-365-5636  
E-mail : hai\_saposen@matsudo-sc.com  
URL : http://www.matsudo-sc.com/  
facebook : https://www.facebook.com/matsudo.sc



◎開館時間：月曜～土曜…9時～21時  
日曜…9時～17時  
◎休館日：第1・第3水曜、年末年始(12/29～1/3)